

E

D

L

magazine

## 携帯電話の 便利機能

最近の携帯電話の便利な機能を紹介します！

## アパレルショップの 内装・外装

大好きなブランドの内装から外装まで松本目線で紹介します！

## Color Column

毎回、ひとつの色を取り上げて、思いついたことを書き連ねます。

## ポスター・広告 のデザイン

「透明な商品の  
広告デザイン」  
今回は「文字のデザインについて見ていきます！」

# Menu

## お気づき入り

身近にあるインテリアや雑貨、風景、建物、カラーデザインやアートまで、とにかくいいなと思ったものを紹介していきます！

## SHOWWINDOW

～原宿・表参道編～

都内ショップのショーウィンドウ紹介、  
第2弾!!!

## 色の錯視

色彩の検定用の本をもとに、自分が興味を持った色の錯視について調べました。

## Stroll café

お散歩やショッピングの途中に見つけたお気に入りのカフェを紹介します！

## 建築 探訪

実際に訪れた建築を  
学生視点で紹介！

## おしやれ カフェを 探せ

インテリアや雰囲気こだわったカフェを紹介します。

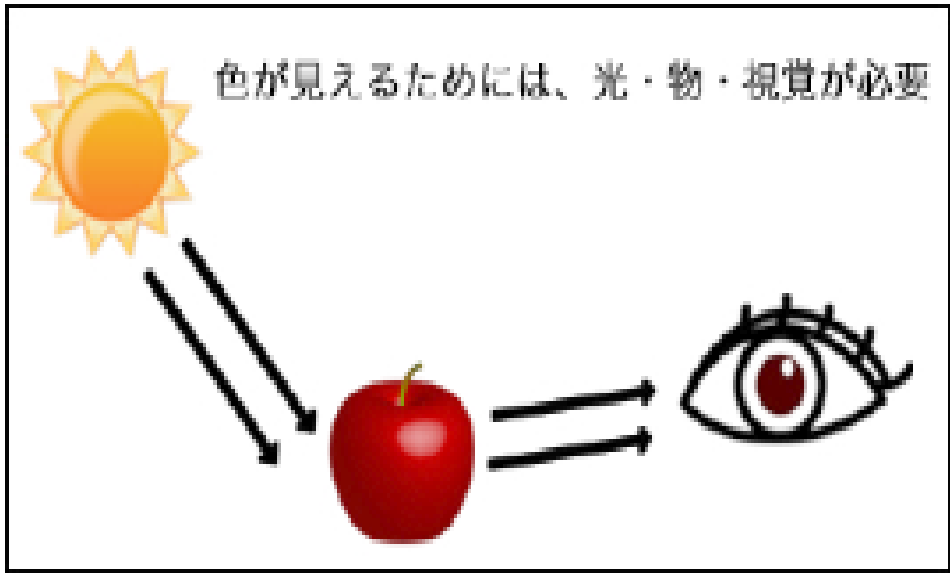
## My idea

～エスカレーター～

エスカレーターは雨の日だとよく滑り危険です。今回は、滑るという点を改善しました。

# 色と光

私たちの生活は多くの色彩であふれている。木や花など、私たちにはそれぞれの色を見ることができ、どうして異なる色を見ることができのだろうか。ニュートンは太陽光線をプリズムに通すことによって、それが虹色に分光することを証明した。つまり、それぞれの色というのは異なった光の波長そのものである。その波長が物体から反射しているいろいろな色に見えているということである。



その理由は、リンゴにとって赤以外のすべての光の波長が必要であるからである。したがって、必要のない赤の波長だけを跳ね返している。

では、リンゴはどのようにして赤く見えるのだろうか。リンゴは太陽の光を反射して、私たちの目に入ってくる。しかし、太陽光は虹色を含んでいるのに、どうしてすべての色を反射せず赤なのだろうか。私たちに見える物の色が光の反射なのだとしたら、赤いリンゴからは赤の波長だけが反射していることになる。赤以外の波長はリンゴが吸収しているのである。

この世のすべての生き物にとって光は大切なものである。その光の中から、それぞれの命の種に必要な光の波長を選び、不必要な波長を跳ね返している。その反射した光が、私たちに人間には「色」として見えている。

# 建築探訪

〜前川國男邸〜



授業では課題として  
もよく取り上げられ  
る前川國男邸。シン  
プルでとても機能的  
なこの住宅が建てら  
れたのは1942年。  
現在は江戸東京たて  
もの園に移築されて  
いる。

まず、私  
が好きな  
ところは  
門から玄  
関までの  
アプロー  
チ。中が  
見えそう  
で見えな  
い、少し  
ずらして  
ある塀が  
まるで中  
へと誘う  
ように迎  
え入れて  
くれ、誘  
われた先  
は庭を横  
目に玄関  
へと続く  
程良い距  
離感がこ  
の家への  
期待感を  
高める。

次に内部

開放的で  
気持ちの  
良い吹き  
抜け空間  
に、大き  
い開口部  
。椅子に  
腰掛け  
るその庭  
の景色は  
飽きない  
。時間見  
ていても  
飽きない  
。考え事  
をした  
い時に  
はうって  
つけか  
もしれ  
ない。





## ルミネ★

ブーツやバッグを見ると前回のショーウィンドウに比べて秋っぽくなりました。上品で大人な雰囲気を感じられます。マネキンの服に合わせ背景の壁紙もベージュベースで落ち着いた印象です。靴、バッグ、服、アクセサリ、グラスまで飾られています。

# Show window ~立川編~

## グランデュオ★

7月のショーウィンドウでまだまだ夏真っ盛りなのに、もう秋の雰囲気です。服の色はグレーや紺など暗い色合い、素材は夏とは違い暑そうに見えます。長袖のコーディネート、マネキンと一緒には置いてあるソファのチェック模様も秋冬を想像させられます。このお店ではまだまだ水着フェアをやっているのに、店頭ショーウィンドウが季節感のずれている秋コーディネートでいいのでしょうか？  
(M.H.)



# 『ポスター・広告のデザイン』

## 『文字のデザインについて』

広告・ポスターには次のようなものがあると思う。まず、読んでもらうための“文字広告”と、イラストや写真をメインとした、見てもらうための“画像広告”である。もちろん、どちらも用いたものの方が、電車や街中で見かけるだろう。このように、広告の表現方法はいくつもあるが、今回はその中の“文字広告”について見ていこうと思う。

### Q. 文字広告にはどんなものがあるか？

文字広告では、その文字のデザイン自体が商品等の紹介になっているもの。筆文字といった、文字の書体が目を引くもの等が挙げられる。また、筆文字を使おうとした場合、例えば印象の強さと存在感を形にするなら、ダイナミックで繊細な表現の筆文字が有効だし、楽しさや驚きといった感情をストレートに喚起させたいのであれば、遊び心溢れるデザイン書道もいだろう。このように、一言に筆文字と言っても、その幅はとても広いのである。

以上のことから分かるように、自分がデザインする側に立ったとき、選択できる文字のデザインは多種多様にあるのである。

では、実際にどのような広告があるのか。特に、文字が興味深いと感じた広告を二つ紹介したい。

## ←No.1 XYLISHのキャンペーン

ガムを買って応募すると、抽選でサンダルが当たることを宣伝している広告。“サ”の文字がサンダルを履いた足になっているので、パッと見た際、イキサンがサンダルのことを示していることが分かりやすい。



## →No.2 キューピーハーフ

カロリーが、従来のキューピーマヨネーズの約半分しかないキューピーハーフの広告。グラフィックが中心ではあるが、細い赤の文字で手書きのように書かれたその言葉は、言葉の持つ飾らないイメージを商品の特徴として上手く表現していると思う。



例としてあげた広告のように、言葉の形・使い方によって伝わることは様々なのである。ただ言いたいことだけをそのまま書き連ねるだけではなく、ほんの少しその内容と文字に関係性をもたせるだけでも、面白い広告が仕上がるのではないだろうか。

(M.Y.)

# My idea

## ～エスカレーター～



駅やスーパーでもよく見かけるエスカレーター、ほぼ毎日のように利用している人もいます。

そんな皆が使うエスカレーターですが、**雨の日のエスカレーター（特に駅のエスカレーター）は良くすべる**という点があります。

私も以前、エスカレーターの乗り込む前の部分（図のココと書いてある部分）で転び、全身を打ってしまったことがあります。

恥ずかしいという事もありましたが、それ以上に、エスカレーターに髪を巻き込まれたりしてしまったら大変です。

私のように転ぶという事は無くても、乗ろうとしたときに、滑ってしまった経験がある人も、いるのではないのでしょうか。また、障害者の方にとっても危険だと思います。

そこで私が提案するのは、**ココの部分**をじゅうたんの様なもので覆うことです。

そうすれば、滑ることも無く、安全になるのではないのでしょうか。

ですが、全てをカーペットの様なもので覆うわけには行かないので、エスカレーターのステップ部分の噛み合っている部分には敷かないという事を考えました。

(M.F.)

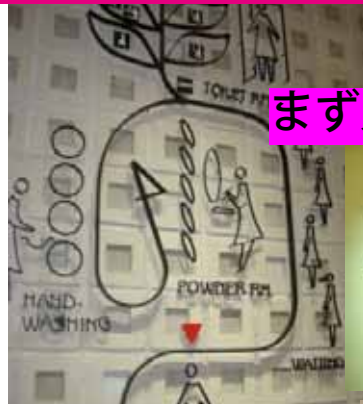


# お気に入りグッズ!!!

今回は私のお気に入りの場所として、LUMINE 立川店のトイレを紹介します！

このトイレは、私が今までに利用したトイレの中で最もオシャレで居心地の良いトイレだと思います。

まず入口がオシャレです！



なんとも可愛らしい小物や写真などがたくさん飾られています。トイレの個室もととてもきれいですが、手洗い場の照明がなかなか美しいのです！

そして、通り道には



そして、パウダールームや外のベンチもトイレにあるとは思えないほどリラックスできる空間になっています。



LUMINE のトイレはどの階も清掃が行き届いていてとてもきれいです。トイレがこのようなインテリア仕様になっているのは、3・4階の女性トイレです。お買い物のついでにぜひ利用してほしいです！



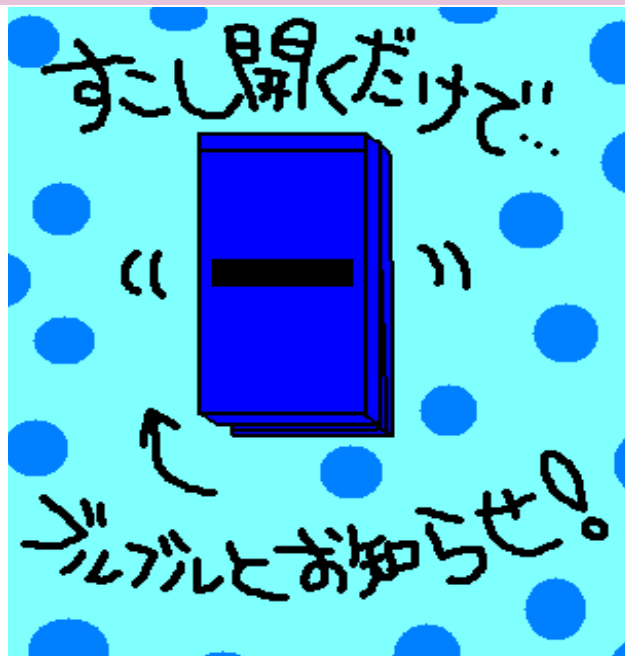
(Y.I.)

# 会社による携帯電話の便利機能②

## ガチャブルとは…

「ポケットやカバンの中に入れている状態など、ディスプレイを見なくても本体を少し開くだけで不在着信や新着メールがあったことを振動によって知ることができる」という機能。

それがなに？と感じるかもしれませんが、これがなかなか便利な機能なんです。



## 東芝の ガチャブル

普段ならばメールチェックの時に携帯をポケットから出し、開いて確認し、新着がなければちょっとがっかりして(笑)、またしまわなければなりません。普段行っていることなので感じにくいかもしれませんが、こうして見ると意外に面倒だと思いませんか？

それに対し、ガチャブルがあるとポケットに手を入れたまま少し開くだけでわかるので、わざわざ携帯を出し入れする必要がないのです。

「別に、普通に出して、しまうのとかたいして面倒な作業じゃないじゃん。」と思う人もいるかと思いますが、携帯を出しにくい授業中などや、携帯が気になるけど友達や恋人の前で何度もチェックできないな…って場面。そんな時も役に立ちます。

ガチャブルは、なければないでなんとかなる。でもあると結構便利！！な機能なんです。

M.Y.

～ショッピングの途中立ち寄ってみませんか・～

和カフェ yusoshi chano-ma

# Stroll cafe

ルミネ立川店の8階にあるお店です。入り口には真っ白な壁をキャンパスにし、描かれた大きな木。どこかのお洒落なギャラリーなのかと思ってしまうほど印象的でアーティスティックな絵です。中に入り、すぐ右側には大きく長いベッド。ベッドの上には丸い木のテーブルが置かれています。このカフェでは靴を脱いで、ベッドの上でご飯やデザートを食べることもできるのです。まるでお家にいるような感覚。ご飯とデザートを食べ終え、そのままごろんと寝転がってしまいたくなります。

店内の家具は白やクリーム色、テーブルや天井は木材になっており全体的に落ち着いた暖かい雰囲気になっています。そんな雰囲気になんと目立つ大きなシャンデリア。柔らかい雰囲気にあえてシャンデリアを足すことでパンチを効かせますますお洒落でアートな空間になっています。

(K.N.)

# BIOTOP ~adam et rope~

わたしは今回アダムエロペビオトープ白金台本店を紹介しようと思います。2010年春リニューアルオープンしたアダムエロペ白金台本店。アダムエロペがオープンして20年、白金台でランドマークとして親しまれてきたアダムエロペ白金台本店がコンセプトに掲げたビオトープとは「人間も含む生き物本来の生態系が保たれた空間」という意味を持っています。20年かけ白金台の街にとけ込んだ外観はそのままに手掛けられています。

クリエイティブディレクターにはスタイリストの熊谷隆志氏を迎え、熊谷氏が他の分野でリスペクトしている最高のクリエイター達が集結して手掛けたのがこのアダムエロペビオトープ白金台になります。アパレルだけではなくグリーンコーディネーターやレストランを招いて、ゆっくりと長い時間楽しめる、これまでにない複合型ショップへと生まれ変わりました。

(K.M.)

# color column

# 赤 ~ red ~

《赤》

白の次を何にしようか迷ったが、「赤」を取り上げることにした。白と赤は仲間だ。色彩学の授業で、古代日本語には4つの色彩基本語があったという話をする。なんだと思う。「赤」、「白」、「青」、「黒」だよ。これらは、緑、黄、紫とは違う特徴がある。それは、「い」を後ろに付けることができることだ。「赤い」はあっても「緑い」はないだろう。もっと昔であれば、たぶん色彩基本語は2つだ。「明るい」色と「暗い」色。そう、赤と黒という言葉が対比的に捉えられていたはずだ。と、まあ、そんな話だ。

「明るい色」を色彩学的に捉えれば、明度が高い色、つまり白っぽい色のことを指す。しかし、「明るい色を選んでください。」と言えば、赤や黄も入っていくことがある。

黄は高明度色だが、赤は中明度。それでも、赤は明るい印象を与えるのである。

明るさというのは大事だ。人は明るいイメージの色を好む。しかし、パステルトーンでは弱い。となると、赤の出番は増えそうだ。

Word や Excel で色指定をするとき、文字を目立たせようとする、さまざま試してみるのだが、どうしても赤になる。いつも胸ポケットに入れている4色ボールペンを使うのも、赤が多くなる。黒字にコメントするのなら、やはり赤が目立つ。黄だと薄いし、青はまあまあだが暗さが似ていてインパクトに欠け、緑では弱い。そうして、赤が選ばれるのだ。

街を歩いていて、赤い看板に目が行ったというとき、目が誘われたという意味で、誘目性という言葉を使う。よく、誘目性は暖色系が高いと言われるが、白を背景としたのなら、やはり黄より赤が目立つだろう。明るく、目立つ赤は、やはり際だった存在なのだ。赤いバラ、カーネーション。女性に赤い花を贈る習慣は、そのあたりと関係するのではないか。

それが第1色覚異常の人達には判別しづらい。赤を感じる錐体の欠損が、赤と黒を区別し難くしている。模擬眼鏡を掛けたり、Adobe Photoshop によるシミュレーションを実施すると、それを感じる事ができる。しかし、3原色の世界に慣れた目には、2原色の世界は何とも慣れない。それは青と黄の2原色なのだが、赤と緑だったらどうだっただろう。青と黄より華やかな世界になるような気がする。いや、多少うるさい感じがするだろうか。同じく明るい色でも、白とはそこが違う。

(K.M.)

これは、環境デザイン研究室の3年生が作成する研究室マガジンです。

実践女子大学  
生活環境学科  
環境デザイン研究室